

がん検診を受けましょう



▼問合せ すこやか環境グループ ☎079 (435) 2611
 早期発見・早期治療ができれば、がんは9割が治るといわれています。播磨町では、肺がん・胃がん・大腸がん・乳がん・子宮頸がん・前立腺がんの6種類のがん検診が受けられます。多くの人に受診していただきやすいよう取り組んでいますので、ぜひご利用ください。

新型コロナウイルス感染症が心配な人へ
感染症対策を十分に行っています

加古川総合保健センターでは、安心して健診を受けていただくために、健診実施機関のガイドラインに基づいて新型コロナウイルス感染症拡大防止対策を実施しています。

早期がんは無症状であることがほとんどです。新型コロナウイルス感染症を恐れてがん検診を受診しないことで、がんの発見が遅れる可能性があります。定期的ながん検診を受け、自分の体をきちんと知ることが健康維持の第一歩です。

費用が気になる人へ
町のがん検診は安価です

町が実施しているがん検診は、自己負担額が検診費用の2割程度と、非常に安くなっています。65歳以上の人は、肺がん(レントゲン)・胃がん(レントゲン)・大腸がん・子宮頸がんの4種類の検診が無料です。(手続不要)

生活保護世帯・住民税非課税世帯の人は、右記のがん検診に加えて乳がん検診(マンモグラフィ)・骨粗しょう症検査・肝炎ウイルス検査の費用免除制度があります。加古川総合保健センターに申し込み後、受診日の1週間前までに身分証明書をお持ちのうえ、すこやか環境グループに申請してください。(代理人の身分証明書も必要です)

町のがん検診は加入保険を問いません
がん検診のみの受診も可能です

職場の健診にがん検診がない人など、がん検診のみの受診も可能ですので、ぜひご利用ください。

加古川総合保健センターまで行きにくい人へ
① 播磨町役場から往復バスが出ます

播磨町役場から加古川総合保健センターまで、往復バスを運行する日があります。利用をご希望の人は、検診予約時にお申し出ください。(通訳・介助などの人以外の同行はご遠慮ください)

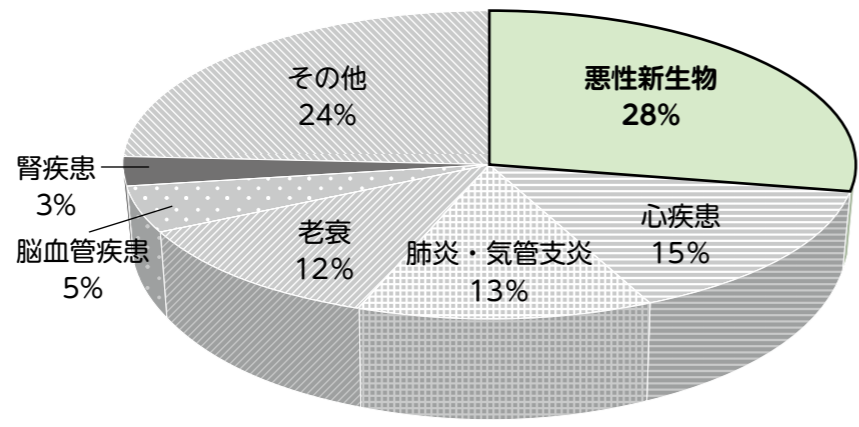
② 町内に巡回検診バスが来ます

中央公民館・福祉会館・野添コミセン・南部コミセンに巡回検診バスが来て、検診を受けられる日があります。(日程は町ホームページまたは「令和4年度播磨町健診のご案内」をご覧ください)



がんは播磨町の死因第1位

図：播磨町死因別死亡者割合(平成28年～令和2年)



播磨町のがん検診受診率が低い状況です!

◀播磨町がん検診受診率の県内順位▶ ※41市町中の順位。

年度	胃がん	大腸がん	肺がん	子宮頸がん	乳がん
平成30	17位	33位	33位	38位	35位
令和1	27位	34位	32位	38位	36位
令和2	29位	34位	32位	39位	36位

(兵庫県疾病対策課作成資料より)

車いすを利用する人へ
令和5年1月27日(金)中央公民館検診で、肺がん検診が受けられます

リフト付き胸部X線デジタル検診車により、専用の車いすに乗ったまま、昇降リフトで安全に検診車に乗り込み、そのまま撮影することができません。

平日は都合が合わないという人へ
10月の第3日曜日にマンモサウンデーを実施今年度は10月16日(日)

乳がん・子宮頸がん検診の受診を希望する人は、基本(特定)健診とがん検診が受診できます。平日の受診が難しい人は、ぜひご利用ください。

子宮頸がん検診を受けたい人へ
協力医療機関(加古川市、稲美町)でも受診できます

子宮頸がん検診は、身近な医療機関での個別検診も選択できます。都合の良い日時に受診できるのでお勧めです。

▼検診期間 令和5年2月28日まで
 ▼申込方法 加古川総合保健センターに申し込み後、受診券が自宅に郵送されます。協力医療機関へ予約後、受診券を持って受診してください

▼申込み 加古川総合保健センター ☎079 (429) 2923
 平日午前8時30分～午後5時(土・日曜日、祝日、8月13日～15日、12月29日～1月4日を除く)
 ▼予約以外の問合せ すこやか環境グループ ☎079 (435) 2611

はいま生き生き *健康ポイント



・健診の受診
 ・「健康ポイント対象」のマークがついた町のイベントや教室への参加
 ・毎日の健康記録
 の3つの健康づくりに取り組み、ポイントを5つ集めると、先着1000人にプレゼントをお渡しします。

がん検診を受けて健康ポイントをもらいましょう!

町で実施したがん検診の結果をすこやか環境グループにお持ちください。健康ポイントを付与します。

▶問合せ すこやか環境グループ ☎079 (435) 2611

結果が「要精密検査」の場合

がん検診の結果「要精密検査」となった場合は、必ず精密検査を受けてください。精密検査では、内視鏡検査・CT検査・超音波検査・細胞をとる細胞診など、より詳しい検査をし、病変がどのような状態なのか、治療が必要な状態なのかを診断します。

また、現在何らかの症状がある人は、がん検診を受けるのではなく、医療機関を受診し、早めに医師の診察や検査を受けてください。

(出典：国立がん研究センターがん情報サービス)